



提論

七週年を回顧して

拙社の態度を明らかにす (公明なる新地方人に寄す)

本紙は大正十年二月創刊の格の至すところ。愛んぞ知第一聲を揚げてより茲に七らん諸氏の誹語を是とし予週年、回顧すれば幾多の難のパンナリテイを否とし...

予はかばかりの田舎新聞の予は地方愛のため然して夫予は浅學と雖も感ずる所あり中途暫く擲打ち自ら新聞は、それ諸氏の勢力を乞ひ...

發行日 五日、十五日、廿五日 郵定 稅 價 共 一 部 十 錢 一 半 二 部 十 錢 一 半 三 部 十 錢 一 半...

迎歡的狂熱

(同不序順) 名芳者援後

Table listing names of donors and their amounts, organized in columns. Includes names like 柏木哲殿, 山田盤殿, 八代公行殿, etc.

比類なき磐城出版界の霸王 内務省許可 磐城信用録

豫約清規

申込絶大盛況

一、組織 磐城信用録は非賣品にして加入者に限り頒布す 二、刊行 昭和二年十二月五日 三、申込 希望者は申込用紙に必要事項記載記名捺印の上豫約金全納又は金五圓を添へ...

發行所 東北實業新聞社 申込所 福島縣平町長橋町三十番地

預金吸集に終始する

各支店銀行を避け

預金は地元銀行へも覺めた!!!

醒めた!!!地方民衆と株主連

金融の現勢は不況の深刻な地方民や株主連は事業産業の安全確保なる放資口の助長發達のために設けられた減少により大勢は緩慢のれたるに外ならず然るに此推移を続け従つて銀行は漸の大精神を没却して預金吸集の減少を告げんと集のみの目的とする他より飛つたあるから、この際の入金の支店銀行に預金取引の差詰り整理とするが如き奇なる現象を表す。預金吸集にある、この預金白するに至つては一大獅々吸収争奪は銀行經營上の生吼して無自覺より醒めて安命であり一大問題である、全地帯に導かんとするにあ抑も銀行の本態精神は預金と茲に漸く各自の經過にの吸集と共に貸付けるのが訴へて各支店銀行の取引を使命である平町に於ける地産地消の地方銀行へと集りつ元銀行は幾何あるか而も質ある事は地元銀行の親切實健全なる四銀行が吾等生主義の結果でもあるが株活上の安全辨である事は今主連や地方産業家の目醒め更喋々の辯を要せずであるたる一つの現象であらう。

磐城實業銀行

愈々新築工事に着手

平町磐城實業銀行は前縣會から改築を叫ばれてきたが今議員鈴木辰三郎氏専務と共回漸く株主の承認を得たのに支配人鈴木源造氏其他の新館を建築する事となり敏腕なる行員顧客本位と熱誠建物會社を買収して大誠努力の結果社運益々昇り建築をする由である工費其現在の社屋では如何にも狹他は未定であるが竣工は七險を告げてゐるので早くか月の豫定である。

植田小學校

新築工事決定

植田尋常高等小學校新築は三十八坪高き十三尺と親切第一主義の遣り方は基礎工事も出来上り来る三西洋建築硝子窓、材料は杉段々店務の發展を來し、月より校舎新築起工七月に材にして材料の撰擇にも注事業は一段と繁榮を來したは竣工の豫定であるが敷地意を拂ひ懸下稀れに見る高爾後彼は苦心に苦心を重ね四千五百坪、校舎建坪八百坪の建築物にして落成の上で奮闘した結果社會一般か

は植田町に一大偉觀を呈す神を以て竣工の意氣込みであるであらう。あれば比較的立派なものが

常磐斯界の一大權威

磐城工業商會

眞摯の士にして且熱誠の材たる

商會主 中村佐治助君

求めよ、さらば與へむと西ら多大の信用を得る方策を歐の哲人は謳つた、そこで唯一として賣出した爲め本吾人は空拳を歎ずる勿れ爾縣下は勿論關東東北から遠の空拳は未來の榮達を招致く北海道迄盛大に取引を爲する資本なれば空拳にしてし昨年夏から青森縣の湊町空拳に非ずと謂ふのであに支店を開設販路の擴張に此の眞理を會得して眞個努力して居る營業課目は電自より成功したる平町四丁機と機械器具炭礦用諸機械目(電話一八番)磐城工業を首め其他一般の工業用機商會主中村佐治助氏は艱難械の販賣設計監督並に請負玉成の士である、彼は秋田にして目下發電所工事も引縣の産大正四年藏前の高等受け電機機具の注文も殺到工業學校を卒へ卒業後茨城してゐる氏の事業上の手腕縣日立礦山製作所に入り更力量は努力と相待つて隆々に東京龜井戸工業所に移りたるものであるが更に向後した斯くて八ヶ年學理と實々として準備を爲しつゝあ地とに研究の結果が空手空拳で大正十年磐城工業商會を獨力創立された其當時は極めて微々たるものであつた

目前の利害を顧みず我が生て行くべき道は將來なり

四倉銀行社會組

男女貞操雜感十項

- ◎戀愛は自由であつても……貞操の自由は斷じて許されない。
- ◎戀愛に忠實なる人は、貞操を守るにも忠實であらねばならぬ。
- ◎貞操を破棄した後の戀愛は、残るこころの穢き残がいのみである。
- ◎ほんの愛人さば、相手の貞操を尊重し、これを愛護する人である。
- ◎結婚前に貞操を破つた男女は、家庭的に幸福にはなり得ない。
- ◎貞操を破つた人は、生がいのために懺悔しなればならぬ。
- ◎眞摯の人は、自分一生だけでなく子孫をもその爲めに苦しめる。
- ◎一旦貞操を破つた婦人は、大膽に自暴自棄に陥り易いものはない。
- ◎貞操を守るために戦ひ勝つた人は、信用に値する人はない。
- ◎識階級の無〇〇者は、無識の無〇〇者よりも始末がわるい。

讀慰安劇

第 回 產婆生徒募集

- 一 募集人員 若干名
- 一 入學資格 高等小學卒業程度(若ハ開等以上ノ學力ヲ有スルモノ)
- 一 修業年限 兩科通じて一ケ年
- 一 申込期間 本年三月三十日マデ

増員講師

- 產婆 東京帝國大學病院出身
- 產婆 東京濱田産科病院出身
- 看護婦 東京濱田産科病院出身

平産婆看護婦學校

平町南町
校長 清野キヨ
電話三〇七番

馬上 誠一
石城郡植田町

小原 長英
七十七銀行平支店長

河西 八十治
農工銀行平支店長

磐城平町五丁目特約代理店金物問屋

良品廉賣に勝る商賈なし 磐城セメント株式會社 和洋銅鐵

火釜屋商店 電話九〇一三九番 振替貯金口座東京一〇九五番 確實敏捷の生命なり

祝創刊七週年

石城銀行組合

磐城銀行 三平目町
 磐越銀行 二平目町
 磐城實業銀行 南平町
 磐東銀行 四平目町
 四倉銀行 植田町
 第七十七銀行平支店 三平目町
 第七十七銀行平支店 二平目町
 農工銀行平支店 四平目町
 常盤銀行植田出張所 植田町

合資會社 三井吳服店

平町三丁目 電話三八番

電機と機械 磐城工業商會

中村佐治助

出張所 常磐線平町四丁目 電話一八
青森縣三戸郡小中野町新町

東部電力株式會社 平營業所

所長 武田精一

堀部留造

町濱の久郡葉双

磐越銀行

中瀧 野澤 甲俊 藏平

植田水田電力氣株會社 社長 通成

私立藤田裁縫女學校生徒募集摘要

本校ハ裁縫、家事及技藝等專ラ齊家ニ須要ナル科目ヲ中心ニ更ニ高等普通教育ヲ施シ淑徳ヲ涵養シ智能ヲ啓發シ以テ地方有爲ノ女子ヲ養成スルヲ以テ目的トス

一、募集人員左ノ如シ

- 1、普通科 百五十名 〔高等科通シテ二ヶ年卒業 尋常小學校卒業以上〕
- 2、高等科 若干名 〔一ヶ年卒業、高等女學校及其他ノ裁縫女學校卒業並ニ修了者〕
- 3、速成科 三十名 〔一ヶ年卒業、尋卒以上ノ者ニシテ普通裁縫ノ素要アルモノ〕
- 4、手藝科 若干名 〔一ヶ年卒業、尋卒以上ノ者ニシテ手藝專攻希望ノモノ〕(洋服裁縫專攻希望者モ含ム)
- 5、高等女學部 五十名 〔三ヶ年卒業、高等小學校卒業以上 學課(修身、禮法、國語、算術、珠算、家事、裁縫) 手藝、習字、音樂、教育、教授法、英語 修了者〕
- 6、高等女學部 若干名 〔高等小學校第三學年以上ノ學力ヲ有スルモノ(無試験) 高等小學校優等卒業生 (無試験) 學校長成績證明書ヲ要ス〕

●教員養成科 入學資格ハ本校高等科速成科卒業業者及本校高等女學部第三年在學者ナルヲ以テ同科希望者ハ先ツ普通科速成科又ハ高女部何レカニ入學サレタシ

二、入學手續

右各科(部)共入學ヲ許ス志願者ハ本校規定在學證書ニ適當記入捺印ノ上〔書式不案内ノ者ハ〕二月十五日ヨリ三月卅一日迄二平町私立藤田裁縫女學校(口頭又ハ書面ニヨリ)ニ提出スベシ

私立 藤田裁縫女學校

電話 三二八番